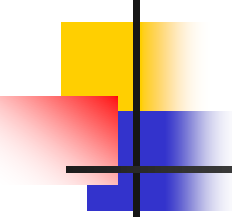


# JAバンク宮城における地域密着型金融の取組状況(平成25年度)

平成26年12月  
JAバンク宮城



---

JAバンク宮城（JA，農林中央金庫仙台支店）では，農業と地域社会に貢献するため，地域密着型金融の推進に取り組みました。

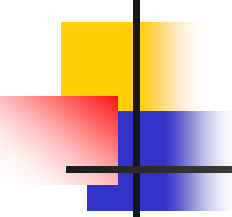
平成25年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので，ご報告いたします。



# 目次

---

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援(JAバンク宮城の農業メインバンク機能強化の取組み) … P. 4
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 14
- III 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供 … P. 18
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 22



---

# I 農山漁村等地域の活性化のための 融資を始めとする支援 (JAバンク宮城の農業メインバンク 機能強化の取組み)

# 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク宮城は、各種プロパー農業資金に対応するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成26年3月末時点のJAバンク宮城の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は642億円(うち農業経営向け貸付金289億円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は23億円を取り扱っています。

(注1) 農業関係資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク宮城が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

**【営農類型別農業資金残高】**

単位 百万円

営農類型	平成26年3月末
農業	28,906
穀作	8,200
野菜・園芸	603
果樹・樹園農業	171
工芸作物	30
養豚・肉牛・酪農	1,545
養鶏・鶏卵	1,336
養蚕	—
その他農業(注1)	17,021
農業関連団体等(注2)	35,346
合計	64,252

(注1)「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。  
 (注2)「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

**【資金種類別農業資金残高】**

単位 百万円

種 類	平成26年3月末
プロパー農業資金(注1)	58,125
農業制度資金(注2)	6,127
農業近代化資金	2,950
その他制度資金(注3)	3,177
合 計	64,252

(注1)プロパー農業資金とは、JAバンク宮城原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2)農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク宮城が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。

(注3)その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

**【農業資金の受託貸付金残高】**

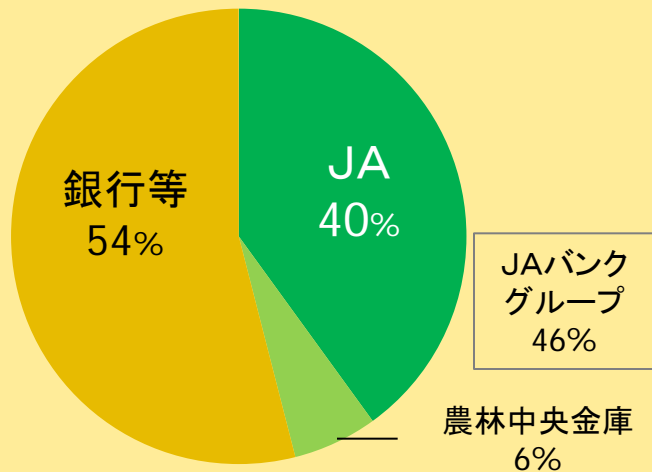
単位 百万円

種 類	平成26年3月末
日本政策金融公庫資金	2,270
その他	8
合 計	2,278

JAバンク宮城では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金等の受託貸付金を取り扱っています。

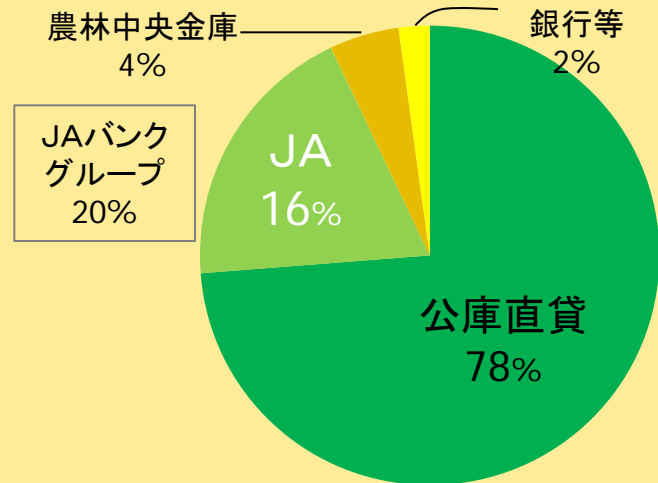
JAバンクは、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫農業資金の取扱いをはじめ、県内の農業融資における基幹的な役割を果たしています。

農業近代化資金 融資残高のシェア



2013年12月末時点  
出展：農林中央金庫

日本政策金融公庫 農業資金取扱残高のシェア



2014年3月末時点  
出展：日本政策金融公庫



## 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク宮城では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 「担い手金融リーダー」を県内14JAに29人設置し、そのリーダーが農業金融にかかる企画推進・管理の中心となって活動しています。
- 農業融資担当者等のスキルアップを目的に、平成23年度に「JAバンク農業金融プランナー」の資格制度を立ち上げ、資格保有者は26年3月末時点で103人となっています。
- 農林中金仙台支店では、JAの支援・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能を順次、拡充、強化してまいります。



# JA内事業間連携の強化

---

- JAバンクでは、農業者の多様なニーズに応じていくため、TAC(担い手専任担当)等営農・経済部門との連携を強化し、合同会議・研修会を実施し、これまで以上にJA内事業間連携を強化し、より農業者のニーズに合った金融サービスを提供できるように、努めてまいります。

## 具体的取組事例－JA内事業間連携の強化

JAグループ宮城 営農と信用の連携研修会(担い手リーダー会議)開催(JAバンク宮城)			
1. 経緯	JAバンク宮城では、農業メインバンク機能強化について、JA内事業間連携の一層の進展を目的に、参集範囲を従来の担い手リーダーに加え、営農部門職員およびTAC職員まで拡大し、「担い手リーダー会議」を発展させて標記研修会を開催しました。		
2. 概要	<p>○タイトル: JAグループ宮城 営農と信用の連携研修会(担い手リーダー会議)</p> <p>○開催日: 平成25年9月3日/平成26年3月14日</p> <p>○参加団体: 県下JA, 中央会, 全農県本部, 農林中金, 農信基(計60名弱)</p>		
3. 主な内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【平成25年9月3日開催】 (第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中金から全国JAの中で、事業間連携が円滑に行なわれている事例を紹介し、事業間連携の必要性を共有しました。</li> <li>・有識者講演として、税理士を招聘し、農業法人とのリレーションを強化する上で、税務会計面のサポートが重要であることを共有しました。</li> </ul> <p>(第二部)グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門間連携強化に向けて、グループディスカッションを実施し、忌憚のない意見交換を実施しました。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【平成26年3月14日開催】 (第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県中央会および農林中金仙台支店から、「JAグループ営農・経済革新プラン」、「担い手経営体支援に向けたJAグループの事業間連携強化」等について説明しました。</li> </ul> <p>(第二部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中金と日本農業法人協会とのパートナーシップ協定締結直後のさきがけとなる形で、宮城県農業法人協会会長より、「農業大規模集約化におけるJAと農業法人の役割」について講演をいただきました。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>【平成25年9月3日開催】 (第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中金から全国JAの中で、事業間連携が円滑に行なわれている事例を紹介し、事業間連携の必要性を共有しました。</li> <li>・有識者講演として、税理士を招聘し、農業法人とのリレーションを強化する上で、税務会計面のサポートが重要であることを共有しました。</li> </ul> <p>(第二部)グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門間連携強化に向けて、グループディスカッションを実施し、忌憚のない意見交換を実施しました。</li> </ul>	<p>【平成26年3月14日開催】 (第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県中央会および農林中金仙台支店から、「JAグループ営農・経済革新プラン」、「担い手経営体支援に向けたJAグループの事業間連携強化」等について説明しました。</li> </ul> <p>(第二部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中金と日本農業法人協会とのパートナーシップ協定締結直後のさきがけとなる形で、宮城県農業法人協会会長より、「農業大規模集約化におけるJAと農業法人の役割」について講演をいただきました。</li> </ul>
<p>【平成25年9月3日開催】 (第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中金から全国JAの中で、事業間連携が円滑に行なわれている事例を紹介し、事業間連携の必要性を共有しました。</li> <li>・有識者講演として、税理士を招聘し、農業法人とのリレーションを強化する上で、税務会計面のサポートが重要であることを共有しました。</li> </ul> <p>(第二部)グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門間連携強化に向けて、グループディスカッションを実施し、忌憚のない意見交換を実施しました。</li> </ul>	<p>【平成26年3月14日開催】 (第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県中央会および農林中金仙台支店から、「JAグループ営農・経済革新プラン」、「担い手経営体支援に向けたJAグループの事業間連携強化」等について説明しました。</li> </ul> <p>(第二部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中金と日本農業法人協会とのパートナーシップ協定締結直後のさきがけとなる形で、宮城県農業法人協会会長より、「農業大規模集約化におけるJAと農業法人の役割」について講演をいただきました。</li> </ul>		
4. 成果(効果)	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>JA内事業間連携強化および農業法人へのアプローチ強化の必要性を、再確認することができ、事業間連携強化に寄与しました。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>宮城県農業法人協会の会長を招聘し、講演をいただいたことで、パートナーシップ協定締結後のさきがけとなり、協会との連携を深めることができました。</p> </td> </tr> </table>	<p>JA内事業間連携強化および農業法人へのアプローチ強化の必要性を、再確認することができ、事業間連携強化に寄与しました。</p>	<p>宮城県農業法人協会の会長を招聘し、講演をいただいたことで、パートナーシップ協定締結後のさきがけとなり、協会との連携を深めることができました。</p>
<p>JA内事業間連携強化および農業法人へのアプローチ強化の必要性を、再確認することができ、事業間連携強化に寄与しました。</p>	<p>宮城県農業法人協会の会長を招聘し、講演をいただいたことで、パートナーシップ協定締結後のさきがけとなり、協会との連携を深めることができました。</p>		





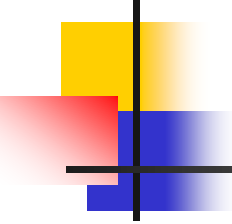
# 農商工連携の推進

- JAバンクは、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援や商品企画力の向上支援など、農商工連携に取り組んでおり、「農林水産業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。
- JAバンク宮城では、農林水産業者の販売面の支援を目的にJA全農宮城県本部等と連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会を開催しました。

## 具体的取組事例－農商工連携の推進

東北復興商談会開催（JAバンク宮城）	
1. 主旨	<p>・「復興支援プログラム」の多面的支援の一環として、東北地域の系統団体と連携し、地場産品の販路開拓・拡大に取り組むことで、農林水産業はじめ、地域産業の復旧・復興につなげます。</p> <p>・本商談会の取り組みを通じて、① 被災生産者の販路拡大支援② 東北地方の地場産品の訴求力向上支援③ 農林水産業者の6次産業化支援④ 戦略的な情報発信による系統団体の地位向上につなげるもの。</p>
2. 概要	<p>○タイトル：東北復興商談会</p> <p>○開催日：平成26年2月19日</p> <p>○参加団体：114団体</p> <p>○商談件数：163件，成約案件：12件，商談継続：134件</p>
3. 主な内容・成果	<p>・3回目の開催となる今回は、東北各地から、JA・農業法人・JF・水産加工会社等49団体がセラーとして出展しました。また、バイヤー企業は、産業界と連携して、東北・関東・関西から過去最多となる65社を招致し、当日は合計163件の商談が行われました。</p> <p>・参加セラーからは、「普段商談することができない企業と商談できた」「商品開発の勉強になった」等の意見をいただき、販路拡大や6次産業化を目指す生産者と、それを求めるバイヤー企業の出会いの場となりました。商談会以降のフォローにも精力的に取り組む、今後も、被災地復興の多面的支援を継続してまいります。</p>





---

## Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

# 新規就農者の支援

- JAバンク宮城では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成25年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 百万円

資金名	平成26年3月末残高
就農施設等資金	244
新規就農者農地等取得資金	1
合計	245

- JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農応援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を行っています。

# 経営改善支援の取組み

JAバンク宮城では、農業経営負担軽減支援資金の対応等にあたり、地域において特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

## 【平成25年度 農業者の経営改善支援取組実績】

区分	経営改善 支援取組先 a	aのうち再生 計画策定先 b	aのうちランク アップ先 c	aのうち債務 者区分不変 先 d	事業計画 策定率 b/a	ランクアップ 率 c/a
正常先	0	0	0	0	-	-
要注意先	24	2	0	10	8%	-
破綻懸念先	20	7	8	9	35%	40%
実質破綻先	53	16	3	17	30%	5%
破綻先	2	0	0	0	-	-
合計	99	25	11	36	25%	11%

- ・ 経営改善支援取組先は、JA・農林中金仙台支店が再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。
- ・ ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分不変先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

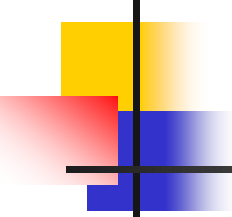


# セミナーの開催

## 東北アグリエコセミナー

1. 主旨	農商工連携・6次産業化、販路拡大の支援、また異業種交流の機会提供を目的に、標記セミナーを開催しました。
2. 概要	<p>○タイトル:東北アグリエコセミナー</p> <p>○開催日:平成26年1月20日</p> <p>○参加人数:79名(JA, JF, 森連, 農業法人, 行政(県・農政局・財務局), 法人営業取引先等)</p>
3. 主な内容・成果	<p>・当金庫仙台支店は、農商工連携・販路拡大支援の一環として「東北アグリエコセミナー」を開催しました。東北地区の農林水産業者や商工業者などに参加いただき、参加者は79名となりました。</p> <p>・セミナーでは、キリンのCSVと復興応援「キリン絆プロジェクト」の取り組み事例や山崎製パンとJAによる「地産地消製品開発」の取組み等について講演が行われました。参加者からは「JAとの商品開発がすばらしく、また身近に感じた」、「パイヤー企業と取引が出来るよう、努力・工夫していかなければいけない」などの意見をいただきました。今後も、被災地の復興、農商工連携・販路拡大に繋がる多面的な支援を行ってまいります。</p>





---

## Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法を 始め、担い手に適した資金供給手法の 提供

# 負債整理資金による経営支援

JAバンク宮城では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

## 【平成25年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成26年3月末残高
畜特資金(注1)	-	-	235
農業経営負担軽減支援資金(注2)	-	-	48
その他(注3)	2	12	559
合計	2	12	842

(注1) 畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注3) その他は、県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金による借換え資金などが該当します。

# 農業法人への投資

- JAバンク宮城では、アグリ・シードファンドや復興ファンドを通じて、農業振興や震災からの復興を行う企業に投資し、企業の成長を支援していきます。

【平成25年度 投資実績】

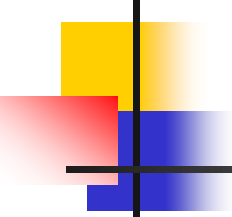
単位 件, 百万円

ファンド名	25年度実績		累計実績	
	件数	金額	件数	金額
アグリシードファンド	0	0	3	24
復興ファンド	4	60	10	135

- アグリビジネス投資育成株式会社は、農業法人投資育成制度にかかる業務を行うため、JAグループと日本政策金融公庫の出資により設立された法人です。農業法人への出資等を通じて、その健全な成長発展を図り、もって農業の持続的な発展に寄与することを目的としています。
- 復興ファンドの対象は、東日本大震災の被災企業を対象とします。

# 農業融資への利子助成の実施

- 農業者に対する農機ハウスローン, アグリマイティ資金, スーパーS資金等の融資について, 農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い, 農業担い手をサポートしています。
- 平成25年度は宮城県で918件, 1,323万円の利子助成を行いました。



---

## IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

# 東日本大震災の復旧・復興支援

- JAバンクでは、東日本大震災等、全国各地での災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や利子補給、利子助成等を実施、また個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しております。
- 県内JAにおいては、東日本大震災で被害を受けた農業者の復旧・復興に向けて、県の災害資金のほかに低利のJA独自災害資金を創設しています。また、これらの県災害資金とJA独自災害資金に対し、JAグループ宮城、JAバンク宮城で利子補給を行い、被災農業者の負担を軽減しています。
- 平成25年度は401件、962万円の利子補給を行いました。

## 具体的取組事例－東日本大震災の復旧・復興支援

### 被災地復興支援としての稲作の生産資材の費用助成実施について

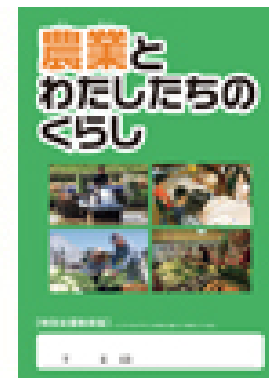
(JAバンク宮城 稲作営農再開支援資材贈呈式)

<p>1. 経緯</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林中央金庫では、平成23年4月に創設した復興支援プログラムに基づき、被災された農林漁業者への金融・経営支援に加え、生産資材の助成・寄贈を実施し、農林漁業者を全力かつ多面的に支援しております。</li> <li>・漁業者への支援としては、養殖ワカメ・コンブダンボールケースや魚箱等の助成・寄贈を行ってまいりましたが、今回、農業者への支援として、全国農業協同組合連合会と連携し、東日本大震災による被害が甚大な地域を対象とし、営農再開後初めての稲作作付けに必要な生産資材の費用助成を行いました。</li> </ul>
<p>2. 概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タイトル : JAバンク宮城 稲作営農再開支援資材贈呈式</li> <li>○開催日 : 平成25年5月10日</li> <li>○参加団体 : 沿岸5JA, 農林水産省(東北農政局), 県中央会, 全農宮城県本部</li> </ul>
<p>3. 主な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災により水田が被災し休耕を余儀なくされた農業者を対象とし、営農再開後初めての稲作作付け時に、種籾や苗、育苗等の必要な生産資材の費用助成を行いました。</li> <li>・被災水田10aあたり種籾相当分となる2,000円を上限とし、最大で計6億7,000万円の支援を見込んでいます。</li> </ul>
<p>4. 成果(効果)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作作付けに必要な生産資材の費用助成を行うことで、被災農家の営農再開の一助となりました。</li> <li>・引き続き、JAグループが一体となり、宮城の農業復興に向けて取り組んでまいります。</li> </ul>



# JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク宮城では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布を行っています。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク宮城を通じて、県内の多くの小学校に配布され、学校の授業等において活用されています。
- 配布小学校数：約420校
- 配布部数：約2万7千校



# JA教育活動への助成

- 県内のJAでは、あぐりスクールをはじめ、食農教育などの実践活動が取組まれており、JAバンクアグリ・エコサポート基金は、これらの取組みに対して、費用助成を行っています。
- あぐりスクールは、将来を担う子どもたちを地域で育み、「食・自然・命の大切さ」を伝え、子どもたちの食を守り、生きる力を育てることを目的に開校しております。
- 平成25年度は県内27件の取組みに対して、約496万円の助成申請が行われました。

## 【あぐりスクール開校式の様子】

